

# 大地の恵みと 笑顔のふれあい



## 農大祭に家族連れなど5,400人

好天に恵まれた十一月二十六、二十七の両日、第四十回農大祭が開かれ、家族連れなど五千四百人がつめかけた。

米や白菜、大根などの野菜、果実の直売テント、アリーナの花直売エリアには、この日を待ちかねていた人たちの長い列が出来た。

午前十時、花火が打ち上げられてオープン。お目当ての農産物がどん



どん売れていった。人気の米直売に用意されたのは県産ブランド米の「とちぎの星」「なすひかり」など六・五トン。飛ぶような売れ行きで、山のように積まれた大袋がみるみる減っていった。台車に積んで運ぶ人たちも多かった。

軒を連ねた出店では、農業未来塾の「大鍋豚汁」「いも串」、学生たちの「つきたてのも

ち」や「モツ煮」にも人気が集まっていた。学生交流している調理師専門学校・三友学園が餃子店、地元清原手打ちそばの会も出店し、十割そばはたちまち「売り切れゴメン」となった。

「子牛ふれあい牧場」では、家族連れの子供たちが可愛らしい牛に大喜び。エサをあげたり、仲良く記念撮影をしていた。





人気のいも串

「モツ煮をどうぞ」



名物の「大鍋豚汁」200円

「あったまる〜！」



「よさこいソーラン」=小山北桜高校